

小松市消防団協力事業所表示制度実施要綱をここに公表する。

平成 20 年 3 月 6 日

小松市消防長 東 康昭

小松市消防本部告示第 2 号

## 小松市消防団協力事業所表示制度実施要綱

### (目的)

第 1 条 この要綱は、消防団を取り巻く良好な環境づくりを推進する上で事業所が果たす役割の重要性に鑑み、小松市消防団の活動に積極的に協力している事業所等に対して、消防団協力事業所表示証を交付するために必要な事項を定め、もって地域の消防防災力の充実強化等の一層の推進を図ることを目的とする。

### (用語の定義)

第 2 条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の定義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 事業所等 事業所又はその他の団体をいう。
- (2) 消防団協力事業所 市長が小松市消防団の活動に協力している事業所等として認め、消防団協力事業所表示証を交付した事業所等（以下「協力事業所」という。）をいう。
- (3) 消防団協力事業所表示証 第 2 条第 2 号の事業所等に対して、消防団活動に協力する証として交付した表示証（以下「表示証」という。）をいう。
- (4) 機能別消防分団 消防庁通知（平成 17 年 1 月 26 日付、消防消第 18 号）に基づき、特定の活動・役割及び大規模災害等に参加する分団をいう。
- (5) 消防団長等 消防団長のほか、町会長等の消防団活動を支援する者をいう。

### (表示証の交付申請及び推薦)

第 3 条 協力事業所としての認定及び表示証の交付を受けようとする事業所等は、小松市消防団協力事業所表示申請書（様式第 1 号）により市長に申請を行うものとする。

2 消防団長等は、表示証を交付する事業所等について市長に推薦することができる。

### (認定基準)

第 4 条 市長は、前条に規定する申請について、次の各号に掲げる基準のいずれかに適合していると認めるときは、協力事業所の認定を行うものとする。

- (1) 2名以上の消防団員を5年以上雇用している事業所等
- (2) 従業員の消防団活動について積極的に配慮している事業所等
- (3) 災害時等に事業所の資機材等を消防団に提供するなど協力をしている事業所等
- (4) 従業員による機能別消防分団等を設置している事業所等
- (5) その他消防団活動に協力することにより、地域の消防防災体制の充実強化に寄与しているなど市長が特に優良と認める事業所等

(審査)

第5条 市長は、次の各号のいずれかに該当する場合、前条の基準に適合するかどうかについて審査を行うものとする。

- (1) 申請又は推薦があった場合
- (2) 市長が消防団活動に協力している事業所等であると特に認めた場合

(表示証の交付)

第6条 市長は、審査の結果、協力事業所の認定を行ったときは、当該事業所等（消防関係法令に違反している事業所は除く。）に表示証（様式第2号）を交付するものとする。

2 市長は、協力事業所として認定した事業所等が他の市町村にある場合は、当該他の市町村と協議の上、当該地の市町村長との連名で、表示証を交付することができるものとする。

(表示証の表示)

第7条 協力事業所は、表示証を交付した市町村等の名称、交付された年月日等を付して、表示証を表示することができる。

2 前条第2項の規定により表示証を交付された事業所等は、前項の規定により表示証に付する事項のほか、当該事業所等が所在する他の市町村等の名称を併せて付することができる。

3 表示証は、次に掲げる場所等に表示するものとする。

- (1) 表示証を交付された事業所等の見えやすい場所
- (2) パンフレット、チラシ、ポスター、看板、電磁方法（電子的方法、磁気的方法その他の人の知覚によって認識することができない方法をいう。）により行う映像その他の広告

4 表示できる表示証の様式については、前条に掲げる様式第2号のほか、様式第2号の寸法を同率に拡大又は縮小したものとする。

(表示証交付整理簿の備付け)

第8条 市長は、小松市消防団協力事業所表示証交付整理簿(様式第3号)を備え付け、表示証を交付した事業所等の名称及び所在地、表示の有効期間等の必要事項を記録し、これを保存するものとする。

(表示の有効期間)

第9条 表示の有効期間は、原則として認定の日から2年又は第10条の規定による認定の取り消しの日までとする。ただし、協力事業所が総務省消防庁消防団協力事業所表示証(以下「総務省消防庁表示証」という。)の交付を受けた場合は、当該交付を受けた日から2年とする。

- 2 表示証の表示の効力が失効した事業所等については、第7条に規定する表示を行うことができない。
- 3 市長は、認定の日から2年を経過する前に協力事項の現状及び表示の継続の意思を確認した上で、認定を更新できるものとする。

(認定の取消し)

第10条 市長は、協力事業所が事業を廃止又は休止したとき、第4条に規定する基準を満たさないこととなったとき、偽りその他不正な手段により認定を受けたとき、又はその他協力事業所としての表示が適当でないと認めるときは、当該認定を取り消すことができる。この場合において、市長は、相手方に対し、当該認定の取消しの理由を文書で通知するものとする。

- 2 前項の規定により認定を取り消された事業所等は、速やかに、表示証を市長へ返還しなければならない。

(協力事業所の公表)

第11条 市長は、協力事業所の名称、小松市消防団への協力内容、その他の事項について、広報紙等により公表するものとする。

(協力事業所の表彰)

第12条 市長は、協力事業所の協力内容等が特に優良と認められるときは、当該事業所を小松市消防職員等表彰規則(昭和31年小松市規則第6号)に基づき表彰することができる。

(事務の処理)

第13条 この要綱に関する事項は、小松市消防本部総務課において処理する。

(雑則)

第14条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、消防長が別に定める。

附 則

この告示は、平成20年4月1日から施行する。

小松市消防団協力事業所表示申請書

平成 年 月 日

小松市長 様

協力事業所所在地  
協力事業所名称  
代 表 者 ⑩  
担 当 者  
電 話

小松市消防団協力事業所表示制度実施要綱第3条の規定により、下記のとおり申請します。

記

- 1 申請区分（該当する区分に✓点を記入してください。）
- 新 規（はじめて消防団協力事業所の表示を受ける場合）
- 追 加（既に消防団協力事業所の表示を受けており、その有効期間内に追加して他市町村の表示を受ける場合）
- 再申請（消防団協力事業所の表示有効期間の満了に伴い、再度表示を希望する場合）
- 2 協力内容（該当する項目に○印を付けてください。）

項 番	目 号	○印	取 組 内 容
1			2名以上の消防団員を5年以上雇用している。
2			従業員の消防団活動への配慮に積極的に取り組んでいる。
3			災害時等に事業所の資機材等を消防団に提供するなど協力している。
4			事業所に機能別分団等を設置している。
5			その他消防団活動に協力することにより、地域の消防防災体制の充実強化に寄与している。

### 3 従業員の消防団所属状況

従業員名	所属消防団名	市町村名

### 4 添付資料

- (1) 会社案内・パンフレット等
- (2) 上記項目の協力内容が具体的に分かる書類
- (3) 再申請の場合は、前回表示証写
- (4) その他審査に必要な資料

消防本部 記入欄	<input type="checkbox"/> 申請	<b>【特記事項】</b> 表示年月日          年      月      日
	<input type="checkbox"/> 推薦	

様式第2号 (第6条関係)



【備考】

- 1 数字の単位は、ミリメートルとする。 3 材質はプラスチック等、厚みは6mm以上とする。  
 2 色は、次の表のとおりとする。

		色 (CMYK値による色指定)
①	地色 (中央部)	青 (C : 50%、M : 5%、Y : 0%、K : 0%)
②	地色 (上下部)	赤 (C : 85%、M : 40%、Y : 25%、K : 12%)
③	表示マーク (面)	赤 (C : 0%、M : 95%、Y : 90%、K : 0%)
④	文字、枠線	銀

小松市消防団協力事業所表示証交付整理簿

公布 番号	事業所名	郵便番号	初回表示年月日	協力事項 (要綱第4条関係) ※ 該当項に☑	主担当 市町村	表示連名 市町村	備考 ※ 該当に☑
		所在地	現表示有効期間				
		担当・連絡先	更新回数				
1				☐1 ☐2 ☐3 ☐4 ☐5			☐申請 ☐推薦
2				☐1 ☐2 ☐3 ☐4 ☐5			☐申請 ☐推薦
3				☐1 ☐2 ☐3 ☐4 ☐5			☐申請 ☐推薦
4				☐1 ☐2 ☐3 ☐4 ☐5			☐申請 ☐推薦
5				☐1 ☐2 ☐3 ☐4 ☐5			☐申請 ☐推薦